

・ 決済(自動引落・自動受取)を行っている金融機関

1. 決済の利用件数が最も多い金融機関

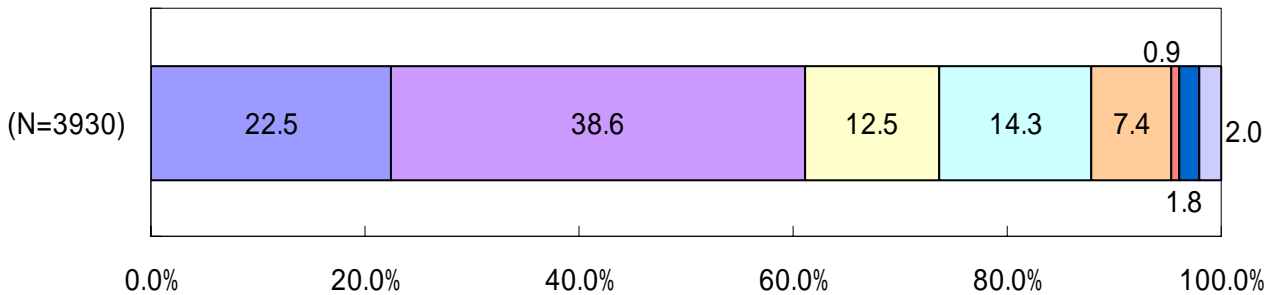
問4 クレジットカードからの自動引落を除いて、決済(自動引落・自動受取)の利用件数が最も多い金融機関はどれですか。(はひとつ)

「決済」には、自動引落(公共料金、税金、クレジットカードなど)、自動受取(給与・年金、恩給など)が入ります。

例えば、複数の都市銀行を利用している場合は、別々の金融機関としてお考えください。

決済口座を利用している世帯(N=3930)について、決済の利用件数が最も多い金融機関をきいたところ、「地銀・第二地銀」(38.6%)、「都市銀行」(22.5%)、「郵便局」(14.3%)「信金・信組・労金」(12.5%)、「農協・漁協」(7.4%)の順となっている。

決済の利用件数が最も多い金融機関 < 全世帯 >

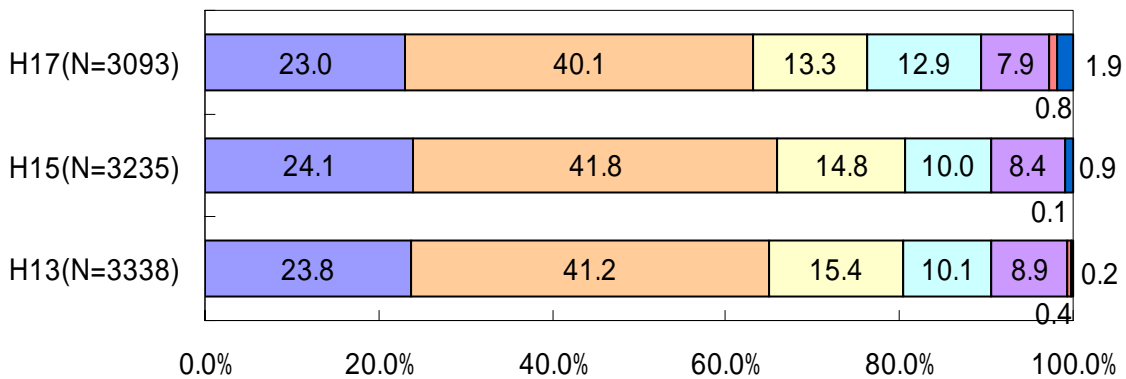


■ 都市銀行 ■ 地銀・第二地銀 □ 信金・信組・労金 □ 郵便局 ■ 農協・漁協 ■ その他 ■ 決済口座利用機関無し □ 不明

< 時系列比較 > (2人以上世帯)

2人以上世帯について、15年度調査、13年度調査と比較すると、「郵便局」の利用が若干増えている。

時系列比較 決済利用が最も多い金融機関 < 2人以上世帯 >

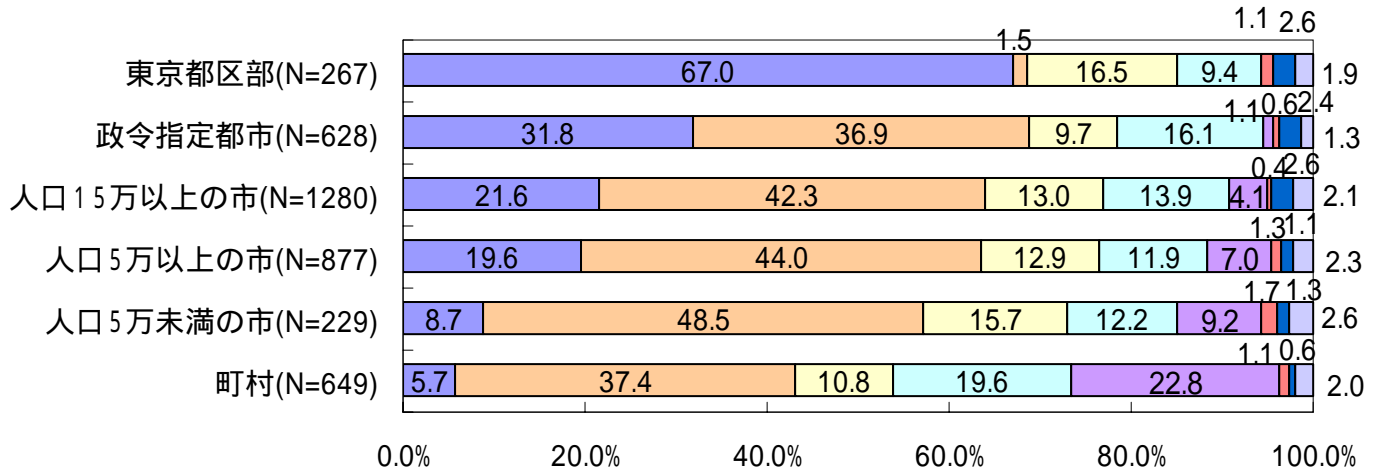


■ 都市銀行 ■ 地銀・第二地銀 □ 信金・信組・労金 □ 郵便局 ■ 農協・漁協 ■ その他 ■ 不明

< 都市規模別 > (2人以上世帯)

2人以上世帯について、都市規模別にみると、「東京都区部」では、「都市銀行」(67.0%)の利用率が圧倒的に高く、「信金・信組・労金」(16.5%)が続いている。一方、「町村」においては、「農協・漁協」(22.8%)の利用率が相対的に高くなっている。

都市規模別 決済の利用が最も多い金融機関 < 全世帯 >

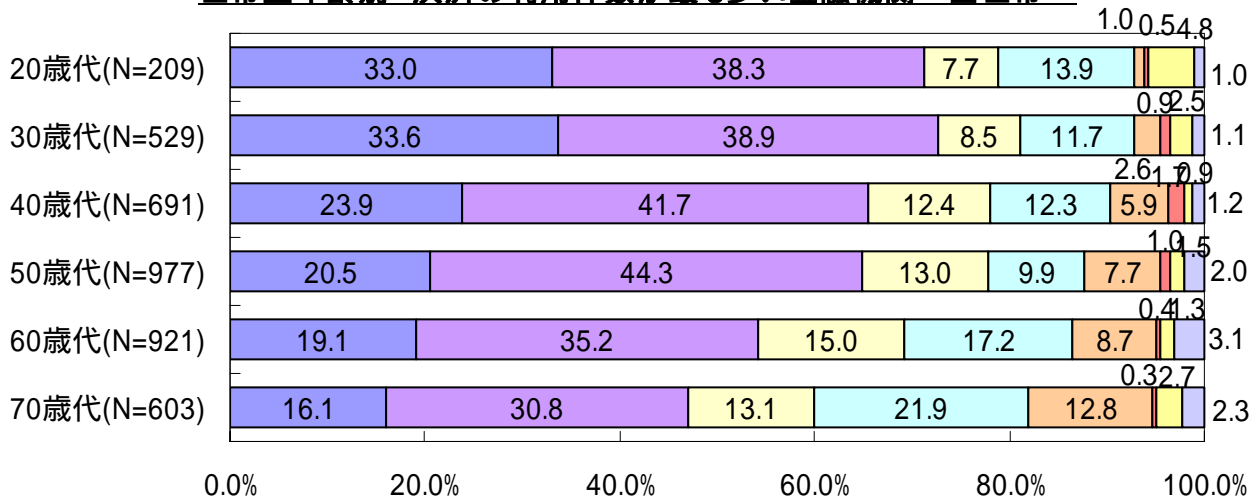


■ 都市銀行 ■ 地銀・第二地銀 ■ 信金・信組・労金 ■ 郵便局 ■ 農協・漁協 ■ その他 ■ 決済口座利用機関無し ■ 不明

< 世帯主年齢別 > (全世帯)

全世帯について、世帯主の年齢別にみると、どの年代でも「地銀・第二地銀」の利用率が3~4割で推移している。「都市銀行」は若い世代で利用率が高く、「農協・漁協」は年代が高くなるほど利用率が高くなる傾向がみられる。

世帯主年齢別 決済の利用件数が最も多い金融機関 < 全世帯 >



■ 都市銀行 ■ 地銀・第二地銀 ■ 信金・信組・労金 ■ 郵便局 ■ 農協・漁協 ■ その他 ■ 決済口座利用機関無し ■ 不明

2. 決済の利用件数が最も多い金融機関を選んだ理由

問4付問1 その金融機関等を決済で最もよく利用している理由について、あてはまるものをすべて選んでください。(はいくつでも)
また、そのうち最も重視している理由について、 に番号を記入してください。

決済口座を利用している世帯(N=3,779)が、決済口座としての利用件数が最も多い金融機関を選んだ理由としては、「窓口が自宅や勤務先、よく行く場所に近い」(58.1%)の割合が最も高く、続いて「ATMが自宅や勤務先、よく行く場所に近い」(52.4%)、「勤め先の給与振込先である」(35.0%)の順となっている。

決済の利用件数が最も多い金融機関を選んだ理由(複数回答) <全世帯>

